

地域の パンデミックプランニング

次の新型インフルエンザ発生に備える!!

—新型インフルエンザの国内発生を想定した研修・訓練—

田辺正樹

三重大学医学部附属病院医療安全・感染管理部准教授

齋藤智也

国立保健医療科学院健康危機管理部上席主任研究官

安江智雄

岐阜県健康福祉部保健医療課感染症対策監

次の新型インフルエンザ発生に備え、新型インフルエンザや新感染症を対象とした感染症危機管理のための法律「新型インフルエンザ等対策特別措置法」が平成25年4月に施行された。同年6月、具体的な対応方針を定めた「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」および「新型インフルエンザ等対策ガイドライン」が策定された。都道府県・市町村においては行動計画の策定、医療機関においては特定接種登録に際して、診療継続計画(BCP)の策定が行われたが、その後、どのような準備が進められているのだろうか。

地震などの災害への備えと同様に、感染症対策においても、日常とは異なる対応を行うためには、事前準備と訓練が重要となる。新型インフルエンザ

であっても、感染対策や治療は季節性インフルエンザと変わらないため、特別な対応は要らないのではないかとのご意見もあると思われる。しかし、ひとたび新型インフルエンザが発生すれば、新たな法律のもと、日常の枠組みを超えた検疫体制、サーベイランス体制、診療体制が行われることになる。国家の危機管理として対応するためには、関係者皆が一定のルールを理解したうえで、対応することが重要となるが、行動計画やガイドラインは内容が膨大で理解が難しいうえ、日常業務のなかで新型インフルエンザにかかわることがないため、おのずと縁遠くなってしまふ分野である。本稿では、地域のパンデミックプランニングの一手法として、新型インフルエンザの国内発生を

想定した研修・訓練ツールを用いたワークショップについて紹介する。

1 新型インフルエンザに対する研修・訓練ツール

新型インフルエンザ対応の訓練・研修ツールとして、内閣官房新型インフルエンザ等対策室が作成した「新型インフルエンザ等発生時の行政対応訓練・研修ツール(平成25年度版)」¹⁾がホームページ上で公開されている(表1)。リアリティーあふれる多くの動画コンテンツが作成されており、新型インフルエンザ対策にかかわる方は、ぜひ一度ご覧いただきたい。この内閣官房作成のシナリオを活用して、都道府県・市町村において、新型インフルエ